

福島第一原子力発電所 3号機原子炉格納容器内部調査の実施結果について（速報：10月22日実施分）

< 参考資料 >
2015年10月22日
東京電力株式会社

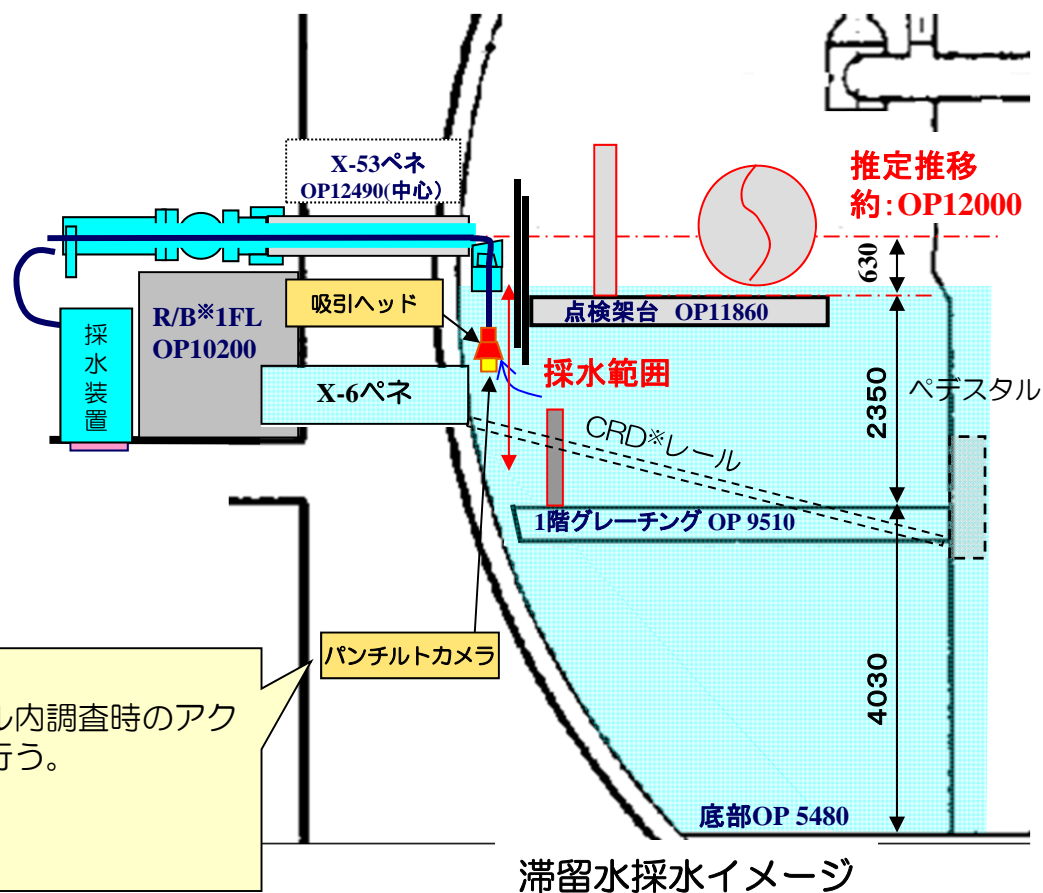
- 原子炉格納容器（PCV）内の滞留水の採水・分析を行い、PCV内の腐食環境等の評価・確認を行う。また、今後の調査方法の検討に資する情報を取得する。

分析項目（予定）		目的
pH		腐食環境評価
導電率【 $\mu\text{S}/\text{cm}$ 】		
塩素濃度【ppm】		
γ 放射能濃度【 Bq/cm^3 】	Cs134	放射性物質放出
	Cs137	
	I-131	
トリチウム濃度【 Bq/cm^3 】		核種移行挙動
Sr89/90濃度【 Bq/cm^3 】		
α 放射能濃度【 Bq/cm^3 】		

※1号/2号と同様の分析項目

パンチルトカメラによる確認
採水装置のパンチルトカメラを使用して、今後のペDESTAL内調査時のアクセスルート・干渉物の確認及び装置設計検討の情報取得を行う。

- ・X-6近傍
- ・1階グレーチング
- ・CRD※レール近傍



滞留水採水イメージ

【補足】カメラによる確認は、カメラやPCV内部の環境上の制約により、可能な範囲で行う。

※CRD 制御棒駆動機構 ※R/B 原子炉建屋

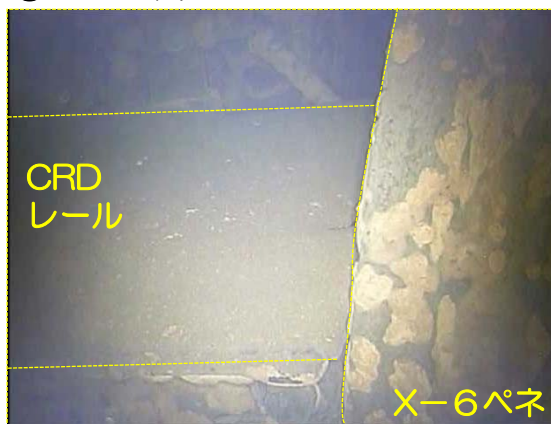
採水装置のパンチルトカメラによる調査結果

- 水中のPCV内の構造物（電線管、支持構造物、X-6ペネ、CRDレール）に、確認した範囲では損傷は確認されなかった。
- CRDレール、1階グレーチング上に堆積物が確認された。

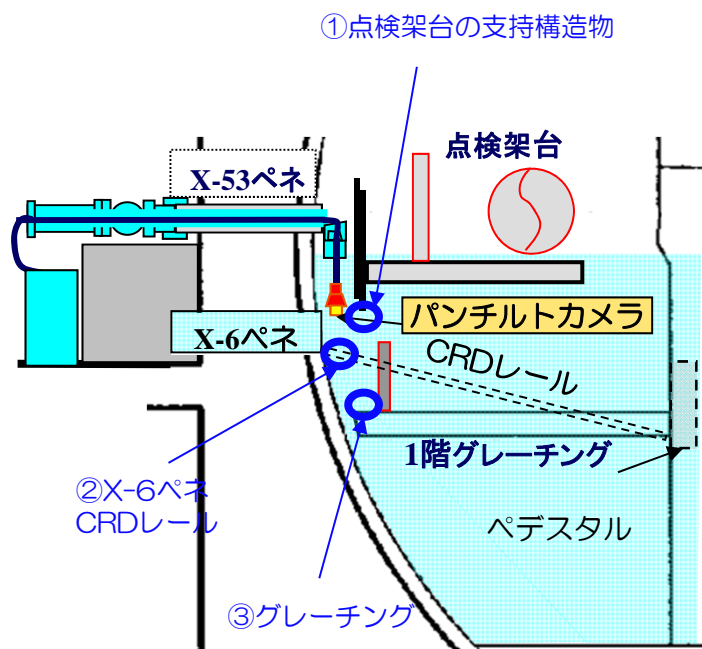
①点検架台の支持構造物



②X-6ペネ、CRDレール



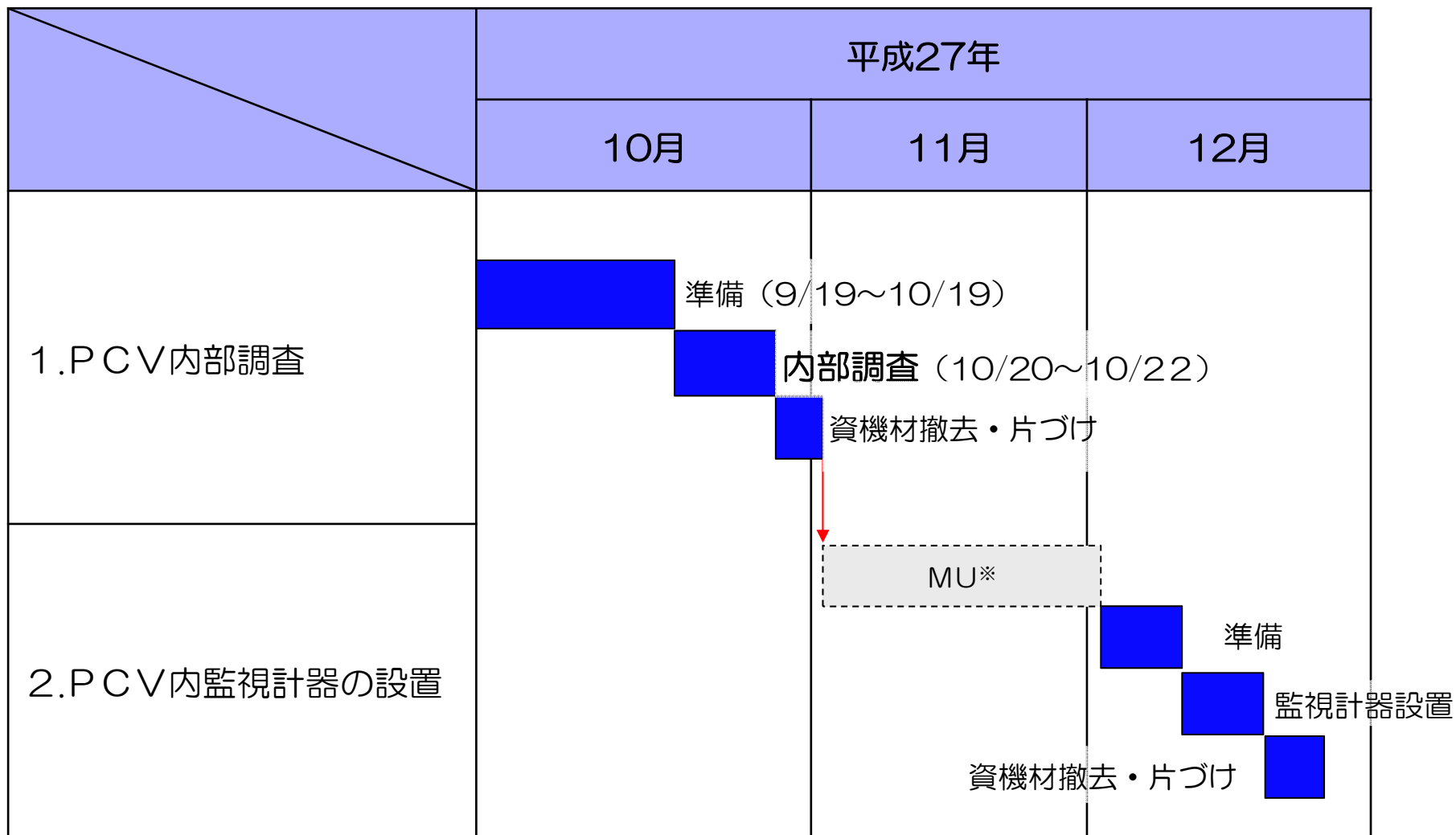
③1階グレーチング



まとめ

- PCV内滞留水の水面近傍（約0.1m下）と水面から約0.7m下の2箇所、各800mlの滞留水を採取した。
- 水中のPCV内の構造物（電線管、支持構造物、X-6ペネ、CRDレール）に、確認した範囲では損傷は確認されなかった。
- CRDレール、1階グレーチング上に堆積物が確認された。
- PCV常設監視計器の設置に支障となる干渉物は確認されなかった。

3号機 計画工程



※：MU：モックアップ